

日本赤十字社神奈川県支部に救援車両を寄贈

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川県福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、昭和60年に当協会を設立以来今日まで、30年にわたり社会貢献活動の一環として、日本赤十字社神奈川県支部に対して、献血車両や血液運搬車等を寄贈してきたところですが、この度は災害現場への人員搬送や連絡用に活用できる四輪駆動救援車両を寄贈したことにより、延べ30台となりました。

1. 寄贈月日	平成26年11月21日（金）
2. 寄贈場所	日本赤十字社神奈川県支部
3. 寄贈車両	救援車両
4. 寄贈先	日本赤十字社神奈川県支部

5. 概要 日本赤十字社神奈川県支部に対しては、その業務の重要性に鑑み、長年にわたって医療機器の整備助成や血液運搬用車両等を寄贈してきたところですが、同支部では、東日本大震災での救護支援活動を契機として、日本赤十字社の本来業務への各種整備が急務となり、前年度までの通信司令車や器材搬送用トラックに続いて、災害現場での人員搬送等に活用する四輪駆動救援車両が必要であるとしていたことから、この度の寄贈に至ったものです。

寄贈式では、伊坂会長から「東日本大震災をはじめ、ここ数年はゲリラ豪雨による土砂災害など未曾有の大規模災害が発生しており、こうした実際の救護現場において活用できる車両をご提供できますことは、大変光栄なことです。

これまで遊技業界全体で灯し続けてきた『社会貢献の灯』は決して消すことなく、県民の皆様にご期待される真の社会貢献団体としての活動を続けてまいります。」と挨拶し、同支部近藤晶一事務局長にレプリカキーを手渡しました。

これに対し、近藤事務局長からは、日本赤十字社社長感謝状が贈呈され、これまでの数々の支援に対して、お礼を述べられました。表彰式の模様は、神奈川新聞、毎日新聞でも紹介されました。

寄贈の四輪駆動救援車両



日本赤十字社社長感謝状受贈

